



DOSHISHA ROHM PLAZA AWARD 2005

2005年度 同志社ローム記念館大賞

公募プロジェクト

同志社大学レスキューロボットプロジェクト (D.U.R.P)



《授賞理由》

本プロジェクトは、ロボットコンテストでの入賞というプロジェクトの目標を見事に成し遂げ、ローム記念館プロジェクトを代表する質の高い活動を展開してきました。災害時にレスキューロボットが果たす役割は大きく、そのようなロボット開発の可能性を広く世に知らしめたことも大きな成果であるといえます。プロジェクト中での役割分担を明確に行い、かつ、それぞれが有機的に結合し、刺激し合いながらプロジェクトを深化させてきたことが報告会でのプレゼンテーションからも伝わってきました。密度の高い組織活動の中でスキルが熟成され、新しいメンバーにもそれが着実に継承され、メンバーとしてもプロジェクトとしても成長を遂げてきたことが、社会性の高いプロジェクト成果を生み出した大きな原動力となりました。堂々の大賞授賞をバネに、コンテストでのさらに高い評価を目標としつつ、レスキューロボットの重要性を社会に浸透させ、実用化への貢献へ弛まぬ努力を心がけてください。さらに飛躍されるとともに、ますます人にやさしいレスキューロボットプロジェクトとして、これからも成長されることを期待しています。



同志社ローム記念館大賞

- 対象プロジェクトの中から、初期の目的を達成し、特にすばらしい成果を上げたプロジェクトに対し、大賞を授与します。
- ローム記念館グランドフロアに、大賞プロジェクトを讃えるプレートを設置します。歴代の大賞プロジェクトの名が刻まれていくこととなります。
- 大賞プロジェクトには、トロフィーと参加メンバー全員に賞状が授与され、次年度もプロジェクトの実施が決定しているプロジェクトに対しては、活動資金20万円が副賞として授与されます。

同志社ローム記念館優秀賞

- 対象プロジェクトの中から、初期の目的を達成し、特に優秀な成果を上げたプロジェクトに対し、優秀賞を授与します。

- 優秀賞プロジェクトには、トロフィーと参加メンバー全員に賞状が授与され、次年度もプロジェクトの実施が決定しているプロジェクトに対しては、活動資金10万円が副賞として授与されます。

大賞以外の各賞

- 対象プロジェクトの中から、社会性、人材育成などの観点から、優秀な成果を上げたプロジェクトに賞を与える場合があります。
- 大賞、優秀賞とその他の賞とのダブル授賞の可能性もあります。
- 賞の名称については、選考時に決定します。
- それぞれの賞について、プロジェクトメンバー全員に賞状を授与します。副賞もあります。



誘致プロジェクト e-Learning市場導入に伴う、 コンサルティング研究及び商品開発



《授賞理由》

萬世電機株式会社の協力と指導のもと、社会性の高いプロジェクト活動をおこなえたという点で高い評価を得ました。プロジェクト活動も2年目に入り、自治体のe-Learningをサポートするだけでなく企画や提案といった、社会に対する働きかけにも力を注ぐことができるようになりました。成果の完成度も高く、それを効果的に表現する実力も十分備えています。本プロジェクトは昨年度大賞を受賞し、本年度は2年目としての成果が期待されました。そのプレッシャーの中、質の高い活動が展開されました。報告会のプレゼンテーションでは、時間的な制約もあってか、プロジェクトを支える個々のメンバーの意識がどのように組織活動に具体化されてきたか、プロジェクトを通じてどのようにスキルが蓄積されてきたかが多少見えづらかったように思われます。3年目に向けて、何を目指し、どのような組織体制で、どのように取り組んでいくのかを明確にし、今後とも社会に大きく貢献できるプロジェクトとして、さらに飛躍されることを期待しています。



コアプロジェクト 学生コアスタッフ



《授賞理由》

ローム記念館プロジェクトを支える大きな柱として大変頼もしく感じました。ローム記念館プロジェクトや、ローム記念館で行われるさまざまなイベントを「プロデュース」という視点は大変重要なものです。チーム全体のコミュニケーションを大切にしながら、活動のひとつひとつをやり遂げる過程において、着実に成長されることを期待します。コアプロジェクトの性格上、サポート的な存在としての活動が多くなりますが、学内外を見る広い視野を持ち、自発的であり活発な活動を、今後も企画実行されることを期待しています。

2005年度 同志社ローム記念館大賞審査を終えて....

授賞式当日、学生コアスタッフにより飾られた特製ステージでは、運営委員の山田先生扮するプロジェクト工場長によりユーモア溢れる授賞式が進められた。「同志社レスキューロボットプロジェクト(D.U.R.P)」に大賞が、「e-Learning市場導入に伴う、コンサルティング研究及び商品開発」に優秀賞が授与され会場が大賑わいした後、極秘裡に準備されていた敢闘賞が紹介され、学生コアスタッフの感激の授賞式で幕を閉じた。プロジェクト活動も2年目を迎え、最終成果報告会で

は、質の高い競争が展開されたが、審査委員会では成果・社会性・人材育成という点で総合的に優位であるとして上位2プロジェクトが選出された。両プロジェクトとも2年連続授賞となったが、今回はD.U.R.Pが念願の大賞を獲得した。また、学生コアスタッフにも1年間の努力と貢献を讃え、敢闘賞が贈られることになった。2006年度の授賞式に向けプロジェクト活動のさらなる発展と深化が期待される。

同志社大学経済学部教授 竹廣 良司